

道徳科学習指導案

指導者 中村 臨太郎

1 日 時 平成29年12月1日(金) 3校時(10:30～11:15)

2 学年・組 第5学年花組 31名

3 主 題 名 よりよく生きる～誠実に～ <内容項目 正直・誠実 A(2)>

4 教 材 名 手品師 (文溪堂)

5 ね ら い 葛藤の末に、男の子との約束を優先し、次々と素晴らしい手品を演じた手品師の姿を通して、いつも誠実に、明るい心をもって生活しようとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

誠実さとは、自分の良心に従い、真心をもって行動することである。人間にとって誠実に生きることは、自分自身に向けられた大きな課題であり、高学年の段階において、自分に対する誠実さを高めていくのは大切なことである。うそをついたりごまかしたりせず、正直に行動することは周りの人達にとっても、自分自身にとっても気持ちのよいものである。しかし、人は誠実に行動することが大切であると理解しているが、自分の弱さから本当のことが言えなかったり利害にとらわれて誠実な行動ができなかったりする。嘘やごまかしで人は欺けても、自分を欺くことはできない。人間としての弱さを認め、それを乗り越えて、自分自身に対して誠実に生きようとする気持ちを育み、そのことがよりよい生き方につながっていくという思いを持たせたい。そして、人にも自分にも誠実に明るく生活していこうとする道徳的心情を育てたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は素直で明るく、互いに励まし合ったり注意し合ったりしながら、日々の学校生活を送ることができている。高学年となり、ほとんどの児童が規則尊重の大切さは理解しており、「きまりを守らなければならない」「約束を守らなければならない」等、基本的な規範意識をもち、自分で善悪を判断して行動することの大切さを理解できている。しかし、生活の中での実践となると、集団の中での自分の立場や仲間関係を意識したり、自分の損得ばかりを考えて行動したりしてしまう児童も少なくない。また、ただ「約束を守らなければならない。」という規則尊重の考え方にのみとらわれて判断する児童も見られる。

この教材を通して、自我の高まりとともに多感な時期を迎える児童に、どんなときも自分をごまかしたり自分と向き合うことから逃げたりせず、自分の心に誠実であり続けることの大切さに気付かせ、明るく生活しようとする心を育てていきたい。そして、よりよい生き方を追求するための判断ができるようになってほしい。

(3) 教材について

本教材は、次の4つの場面で構成されている。

- ① 腕はよいがあまり売れない手品師が、大劇場に出ることを夢見て努力していた。
- ② ある日、手品師は落ち込んでいるひとりぼっちの男の子に出会う。慰めようと手品を披露して、次の日も来ることを約束する。
- ③ その夜、手品師は友人からの電話で大劇場に出る誘いを受けるが、葛藤の末に断る。
- ④ 次の日、たった一人の客である男の子を前に、手品師は次々と素晴らしい手品を演じた。

手品師の心の葛藤を捉えられるように、大劇場に行くことを選んだ場合と、男の子との約束を選んだ場合の違いをしっかりと押さえる必要がある。その上で、私利私欲にとらわれず、自ら正しいと信じるところに従って、自分に対して誠実であろうとする手品師の生き方について学びを深めていきたい。

7 考えを深め合う授業の工夫

- ・めあてを示すことで、価値への方向付けを図るようにさせる。
- ・「もし、自分が手品師ならどうするか。」と問いかけることで、自分と手品師を比較しながら手品師の良さについて考えさせる。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・前時の振り返りをする。	一斉	前時の振り返りをしましょう。 ・マザー・テレサ 家族と二度と会えないという覚悟を持って、貧しい人を救うという夢を貫いた。	・マザー・テレサの生き方を振り返らせる。	
展開	・教材を読む。	一斉	めあて：手品師の生き方について考えよう。		
	・手品師の葛藤している気持ちを理解し、自分ならどうするかを考える。	一斉	もし、自分が手品師ならどうしますか。 ○大劇場に出ることを優先する。 ・大人数の前で手品ができるから。 ・有名になり、お金ももらえるから。 ・長年の夢が叶うから。 ○男の子との約束を優先する。 ・先に約束したから。 ・男の子を喜ばせてあげたいから。	・手品師の葛藤を自分のこととして考えさせる。	・挿絵等 ・発問カード
	・手品師が男の子に次々と素晴らしい手品を演じることができた理由を考える。	個別 一斉	手品師が男の子に次々と素晴らしい手品を演じることができたのはなぜでしょう。 ・男の子を喜ばせたいと思って演じたから。 ・男の子が自分の事を必要としてくれているから。 ・手品師の中で決意して、後悔なく手品を演じることができたから。 ・迷っていたけど、自分の目の前の男の子を喜ばせることが、手品師にとっての幸せだから。	・手品師が自分の良心に従って決意したことにより、よりよい生き方ができたことに気付かせる。	※手品師の誠実さに気付くことができたか。 ＜発表・道徳ノート＞
	・手品師の生き方について考える。	グループ 一斉	手品師は何を大切にしたらどんな生き方をしたのでしょうか。 ・男の子との約束を大切にしたい優しい生き方。 ・自分の夢よりも相手の気持ちを大切にしたい思いやりのある生き方。 ・約束を大切にしたい真面目な生き方。 ・男の子の笑顔を大切にしたい後悔のない生き方。 ・後悔のない選択を大切にしたい自分に正直な生き方。	・手品師の生き方についてグループで話し合わせることで、考えを深めさせる。	
終末	・振り返りを書き、交流する。	個別 一斉	前回の授業と今日の授業で感じたことを道徳ノートに書きましょう。	・手品師の生き方から、自分の生き方について深く考えさせる。	※いつも誠実に、明るい心をもって生活しようとする気持ちを持つことができたか。 ＜道徳ノート＞

9 板書計画

第 回 道徳

手品師

マザー・テレサ

家族と二度と会えないかもしれないという覚悟を持つて、
貧しい人を救うという夢を貫いた。

めあて…手品師の生き方について考えよう。

もし、自分が手品師ならどうしますか。

手品師が男の子に次々と素晴らしい手品を演じる
ことができたのはなぜでしょう。

さし絵

さし絵

手品師は何を大切にしてどんな生き方をしたのでしょうか。

10 道德ノート

道徳ノート

第 回

『 手品師 』
月
日

名前)